

金田町人の動き

(3月1日現在)

世帯数	2,637		
人口	9,545		
男	4,676	女	4,869
出生	15	死亡	7
転入	35	転出	40

かなだ

第184号

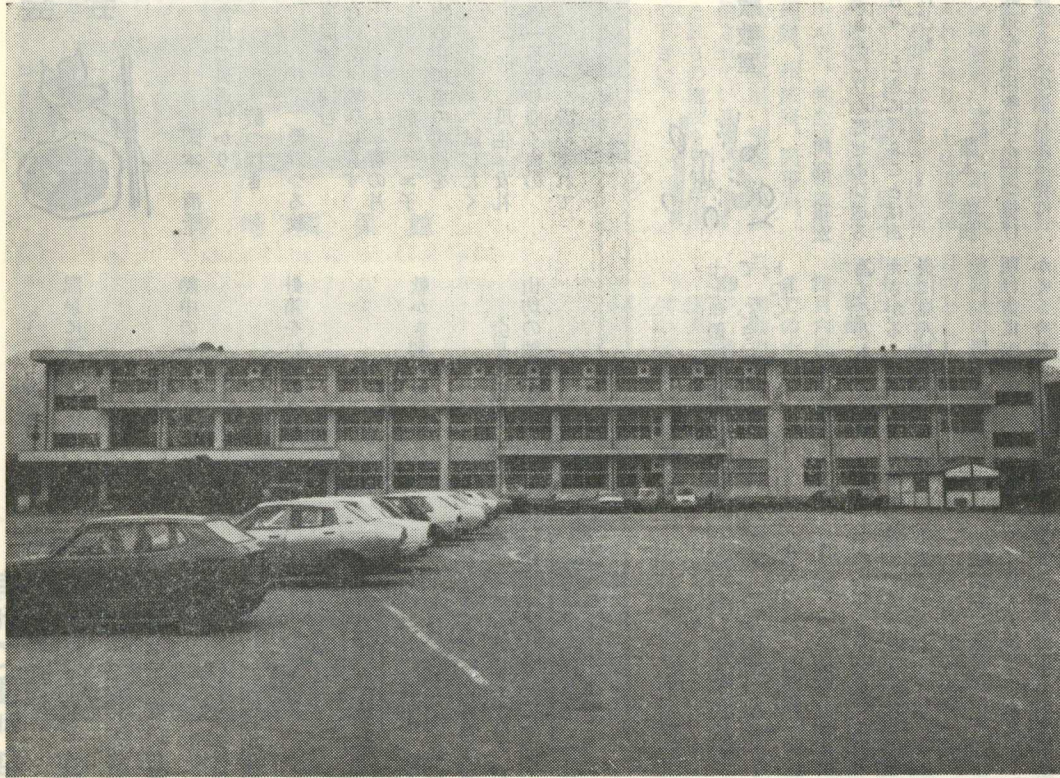
金 田 町 報

発行所 金田町役場総務課

編集兼 藤 川 義 臣
発行人

印刷所 栗 林 印 刷 所

電話 (09474) ② 0506番



町立金田小学校 全面改築事業終る!!

たくましく

すこやかに

金田町教育委員会

数多くの先輩諸士が数々の思い出を残して卒業して行った母校金田小学校の木造校舎も時代の流れに対応できず老朽による雨もり、或は設備の不備による保健上の問題等により改築に向っての始動が昭和五十二年度より計画され、学校関係者は勿論、議会議員の皆さんの絶大な御指導と御協力を得まして窮迫した財政状況の時期に教育施設整備に深い御理解を頂き、町長の御英断により五十三年度より二ヶ年計画で全面改築への第一歩を進めたのであります。

私共も建設に当っては施設、設備について近代化と児童の立場を充分考え先進校の視察は勿論、経験者等の意見も参考にし且またP.T.A.の建設委員会等の意見も尊重し、五十三年度早期着工を計画致しておりましたが、私共の不手際により着工が十月まで遅延致しその間、児童初め父兄に大変御迷惑をかけたこととお詫び申し上げます。

五十三年十月待望久しかった学校建築の礎首は一段と高く轟き、木造校舎は次々と解体されて行くその姿を見、一抹の郷愁を思いながらも二ヶ年後の雄姿を期待しながら工事を見守って来ました。工事は順調に進められ、当初の遅れを若干でも取りもどすべく業者の方々に無理な協力をお願い致しましたが五十三年度事業はやむなく繰越事業となり五十四年六月完了、九月一日より新校舎に引越し、引続き五十四年度工事に着工したのであります。

昨年の経験を生かし五十四年度は児童に迷惑をかけるまいよう努力して参ったのであります。色々な難関を打破して八十年代の幕明けとともに、ここに近代的な設備を有し児童の勉強の場として最適な、しかも他に類を有しない立派な雄姿を見ることができ、その前途を祝福するように桜花らんまん咲き誇る四月落成式を挙げる運びとなり、全面改築事業が完了したものであります。

建設内容については普通教室二十八教室、養護教室二教室、管理棟(校長室、職員室、事務室)特別教室九教室(保健室、図工室、音楽室、視聴覚室、家庭科室、理科室(二教室)図書室、特別活動室)その他として教材室、配膳室、便所エレベーター室等総面積五千八百八十平方メートルあります。

このような内容を有し設備についても近代的な物を取入れ、将来に充分期待しているものであります。今後の学校運営についてはこの施設を充分活用し「たくましく、すこやかに」育つ児童の育成に努力しなければならぬと考えております。そのためには教師の創意と工夫は勿論、各特別教室を利用した指導の研究、実験等先生方の奮起をお願いするとともに将来は特別教室を利用した研究指定校の認定を受けるべく方向で検討致しております。

いずれにしても最良の環境で最高の施設を備えた物件を提供して頂いた以上残された問題は、その効果ある運営で学力を保障し落ちこぼれをなくし「たくましくすこやかに」人間に生長することを祈りながら小学校の完成を心から祝福するものであります。

最後に工事中児童を始め関係者各位に大変御不便をかけたことにお詫び申し上げます。建設に御協力下さいました多くの人々に心から感謝申し上げるものであります。

学校教育課